

3名の講師が解説します！

1名分料金で
2人目無料

高分子劣化のメカニズムと

添加剤による対策や材料分析技術【LIVE配信】
【アーカイブ配信】◆日時: 2026年3月6日(金)10:00~16:45
【アーカイブ配信: 3月9日(月)~3月23日(月)】

◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をさせていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

<第1部> 高分子材料の劣化の基礎と対策 (10:00~12:00)	<第2部> プラスチック用添加剤による 劣化・変色対策 (13:00~15:00)	<第3部> 高分子材料の劣化における 分析・評価事例 (15:15~16:45)
吉岡技術士事務所 所長 博士(工学) 吉岡 謙 氏	(株)ADEKA 樹脂添加剤開発本部 添加剤開発室 課長補佐 修士 三觜 優司 氏	(株)島津製作所 分析計測事業部 SolutionsCOE 西倉 瀬里 氏
【プログラム】 ※内容を省略して掲載しております。 詳細はHPでご確認ください。 1. 高分子材料の劣化原因(事例を交えて紹介) 1-1 熱による劣化 1-2 酸素による劣化 1-3 光による劣化 1-4 水分による劣化 1-5 化学物質(有機溶剤等)による劣化 1-6 繰り返し応力による劣化 1-7 複合劣化 1-8 その他 2. 高分子材料の劣化を抑制するための 添加剤の種類とその役割 3. 高分子材料の破壊原因(事例を交えて紹介) 4. 高分子材料の劣化・破壊対策 (ユーザーの立場で) 4-1 使用時の劣化・破壊を 抑制するための材料の選定 4-2 熱可塑性樹脂の 成型加工時の劣化・破壊対策 4-3 熱硬化性樹脂の 硬化時の劣化・破壊対策	【プログラム】 ※内容を省略して掲載しております。 詳細はHPでご確認ください。 1. 高分子材料の酸化劣化と安定化 2. 酸化防止剤の種類とその有効な活用方法 2-1 熱酸化劣化を抑制する添加剤 3. 金属不活性化剤の 種類とその有効な活用方法 3-1 金属による酸化劣化を抑制する添加剤 4. 光安定化剤の種類とその有効な活用方法 4-1 光酸化劣化を抑制する添加剤 (1)UVAの種類と作用機構 (2)HALS(ベンザードアミン型光安定剤) の種類と作用機構 5. リサイクル材料向け環境対応型樹脂添加剤 (アデカシクロエイドシリーズ)の紹介 5-1 リサイクル材料に適した添加剤 (1)酸化防止剤パッケージ (2)核剤パッケージ (3)光安定剤パッケージ 6. 各種添加剤の選定方法 ・添加剤の選定方、注意点 ・実用配合処方の紹介	【プログラム】 ※内容を省略して掲載しております。 詳細はHPでご確認ください。 1. 高分子材料の分子構造評価法 1-1 赤外分光光度法(FTIR) ・高分子材料の評価の例 1-2 ラマン分光光度法(Raman) ・高分子材料の評価の例 1-3 紫外線劣化・熱劣化した高分子材料の 赤外/ラマン分光分析 ・各分光分析法のメリットとデメリット 1-4 リサイクルした高分子材料の 赤外/ラマン分光分析 1-5 マトリックス支援レーザー 脱離イオン化法(MALDI)を用いた 分析事例の紹介 2. 高分子材料の特性評価法 2-1 ダイナミック超微小硬度計 2-2 紫外可視分光光度計 2-3 示差走査熱量計・示差熱・ 熱重量同時測定装置(DSC, TG-DTA) 3. 高分子材料の劣化評価における 多角的分析の必要性について

『高分子劣化【WEBセミナー】』セミナー申込書 < LIVE配信 アーカイブ配信 >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送